

各位

株式会社トップカルチャー
 代表取締役社長 清水秀雄
 (コード 7640 東証1部)

トップカルチャー 2010年10月期 通期連結業績

大幅な増収増益を達成！！

売上高	33,871 百万円	(前年同期比 114.6%)
経常利益	976 百万円	(前年同期比 133.3%)
当期純利益	455 百万円	(前年同期比 131.1%)

当連結会計年度は、蔦屋書店 部門において売上高前年同期比は全店で 115.2%、既存店で 97.3%となりました。(株)アンフォルマの完全子会社化(平成 22 年 5 月 1 日付で吸収合併し消滅)に伴う店舗数の増加が増収に貢献いたしました。

利益面では、粗利率の高いレンタル売上が増加したことおよび継続して原価率の改善に取り組んだことが奏功し、売上総利益率は前年同期比 1.1%増加し、32.3%、経常利益は前年同期比 133.3%の 976 百万円 となりました。なお、店舗の移転統合に伴い特別損失 92 百万円を計上した(期初計画織込済み)結果、当期純利益は前年同期比 131.1%の 455 百万円 となりました。

● 主力部門：書籍・レンタル・文具が増収に寄与！

主力商品のうち、書籍が売上高前年同期比 116.6%(既存店 101.9%)、レンタルが売上高前年同期比 120.6%(既存店 90.0%)、文具が売上高前年同期比 117.5%(既存店 112.3%) といずれも売上を大きく伸ばし、増収に寄与いたしました。特に、書籍は売上上位商品の充足率強化により売上の底上げを図ったこと、文具は定番商品の売上が好調であったほか、趣味文具や生活雑貨等のライフスタイルを提案する品揃えを拡充したことが奏功し、既存店実績でも前年を上回る好調な推移となりました。

● グループ店舗数を 75 店舗に拡大！

2009 年 11 月に株式会社アンフォルマの全株式を取得し、完全子会社化(2010 年 5 月に当社に吸収合併し、消滅)したことに伴い、東京 23 区内の TSUTAYA11 店舗を取得(のれん償却 76 百万円計上)いたしました。また、移転出店 2 店、移転統合による閉店 4 店を実施した結果、当連結会計年度末のグループ合計店舗数は 75 店舗 となりました。引き続き、「グループ 100 店舗体制」の実現に向け、店舗買収も含め店舗網の拡大に取り組んでまいります。

● 2011 年 10 月期 通期連結業績予想 (2010 年 11 月 1 日～2011 年 10 月 31 日)

2011 年 10 月期は、2店の出店を予定しております。引き続き原価率の改善とコスト効率の見直しにより、大幅な収益体質の改善を図ってまいります。なお、当期純利益につきましては、資産除去債務に関する会計基準の適用による特別損失(過年度分)の計上を見込んでおります。

このことから、売上高 35,000 百万円(前年同期比 103.3%)、経常利益 1,100 百万円(同 112.6%)、当期純利益 460 百万円(同 101.0%) を予想しております。

1. 連結業績の概要

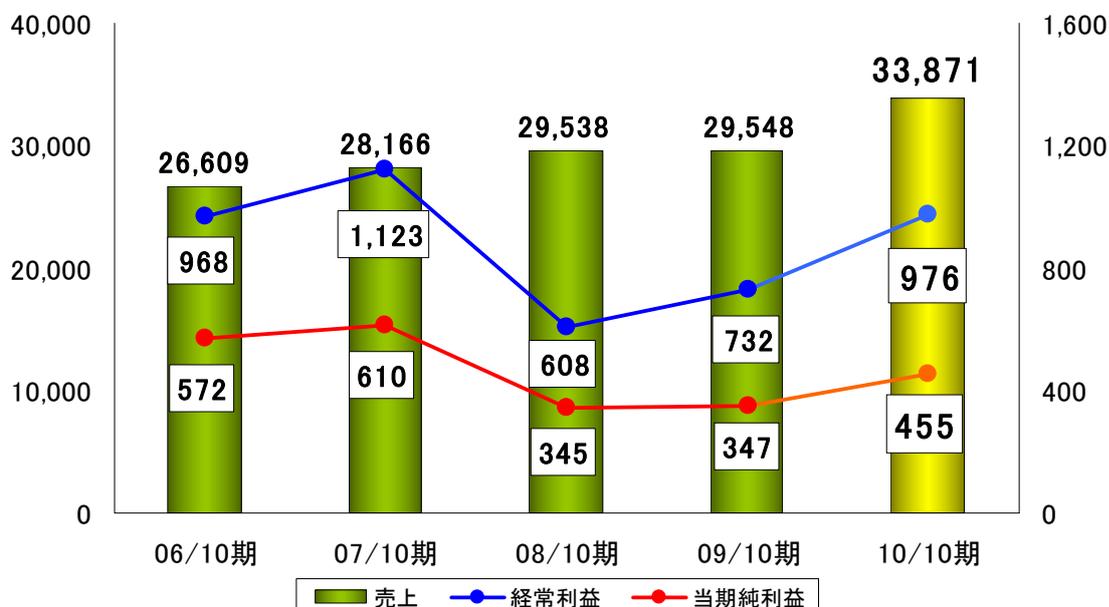
【連結サマリー】

(百万円)

	2009年10月期		2010年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	29,548	100.0	33,871	100.0	114.6
売上総利益	9,231	31.2	10,952	32.3	118.6
営業利益	693	2.3	939	2.8	135.6
経常利益	732	2.5	976	2.9	133.3
当期純利益	347	1.2	455	1.3	131.1
EPS(円)	28.96		37.95		131.0

売上高(百万円)

経常利益
当期純利益(百万円)



【蔦屋書店部門サマリー】

(百万円)

	2009年10月期		2010年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	28,508	100.0	32,844	100.0	115.2
売上総利益	8,906	31.2	10,627	32.4	119.3
営業利益	643	2.3	887	2.7	137.8
経常利益	778	2.7	1,007	3.1	129.4
当期純利益	394	1.4	584	1.8	148.1
EPS(円)	32.92		48.75		148.1

2. 商品別売上高の状況

- ・ 書籍は売上上位商品の充足率強化により、売上の底上げを図りました。
- ・ 文具は定番商品が好調だったほか、ライフスタイルを提案する品揃えの拡充が奏功いたしました。
- ・ レンタルは映像部門で低価格競争が続いたものの、音楽部門は定番・ロングセラー商品の品揃えの拡充を図ったことにより堅調に推移いたしました。
- ・ 販売用CD・DVDは売場効率の見直しに取り組みました。

(百万円)		09年10月期	10年10月期			既存店
		金額	金額	増減額	前年比	前年比
蔦屋書店部門	書籍	11,910	13,889	1,979	116.6	101.9
	レンタル	6,448	7,775	1,327	120.6	90.0
	文具	2,663	3,131	467	117.5	112.3
	販売用CD	3,284	3,196	△87	97.3	85.1
	販売用DVD	1,850	1,945	94	105.1	86.5
	その他	2,351	2,905	554	123.6	
	小計	28,508	32,844	4,335	115.2	97.3
	トップブックス部門計	885	848	△36	95.9	
	グランセナ部門計	154	178	23	115.2	
	合計[連結]	29,548	33,871	4,322	114.6	

※2010年5月1日付で吸収合併した㈱アンフォルマのTSUTAYA11店舗は新店扱い

3. 出店の状況

- ・ 平成21年11月2日に㈱アンフォルマの全株式を取得し、完全子会社化(平成22年5月1日付で吸収合併)したことにより、東京23区内のTSUTAYA11店舗が当社グループに加わりました。
- ・ 移転出店2店、移転・統合による閉店4店を実施いたしました。

グループ合計店舗数 75 店舗 延床面積合計 34,389 坪

(1店当たり 平均 459 坪)

【M&A】株式会社アンフォルマ11店舗 2009/11/2取得、2010/5/1トップカルチャーに吸収合併

店名	店名	店名
TSUTAYA 町屋店	TSUTAYA 西葛西店	TSUTAYA 東京上野店
TSUTAYA 東大島店	TSUTAYA 赤羽店	TSUTAYA 船堀店
TSUTAYA 梅島店	TSUTAYA ときわ台店	TSUTAYA アトレヴィ田端店
TSUTAYA 亀有店	TSUTAYA お花茶屋店	

【2010年10月期 出店状況】

	店名	場所	面積	開店日/閉店日
移転出店	蔦屋書店 長岡古正寺店	新潟県	1,000 坪	2010/07/23
移転出店	蔦屋書店 アクロスプラザ美沢店	新潟県	600 坪	2010/03/19
移転閉店	蔦屋書店 長岡宮内店	新潟県	320 坪	2010/02/28
統合閉店	峰弥書店 黒埼店	新潟県	330 坪	2010/02/28
移転閉店	蔦屋書店 西長岡店	新潟県	320 坪	2010/07/04
	蔦屋書店 北長岡店	新潟県	400 坪	2010/07/04

4. 2011年10月期の業績予想

- ・ 出店につきましては、関東地区において大型複合店舗の新設出店2店を予定しております。
- ・ 引き続き、原価率の改善及びコスト効率の改善に取り組み、大幅な収益体質の改善を図ってまいります。なお、当期純利益につきましては、資産除去債務に関する会計基準の適用による特別損失の計上を見込んでおります。

【連結】

(百万円)

	10年10月期		11年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	33,871	100.0	35,000	100.0	103.3
経常利益	976	2.9	1,100	3.1	112.6
当期純利益	455	1.3	460	1.3	101.0
EPS(円)	37.95		38.34		101.0

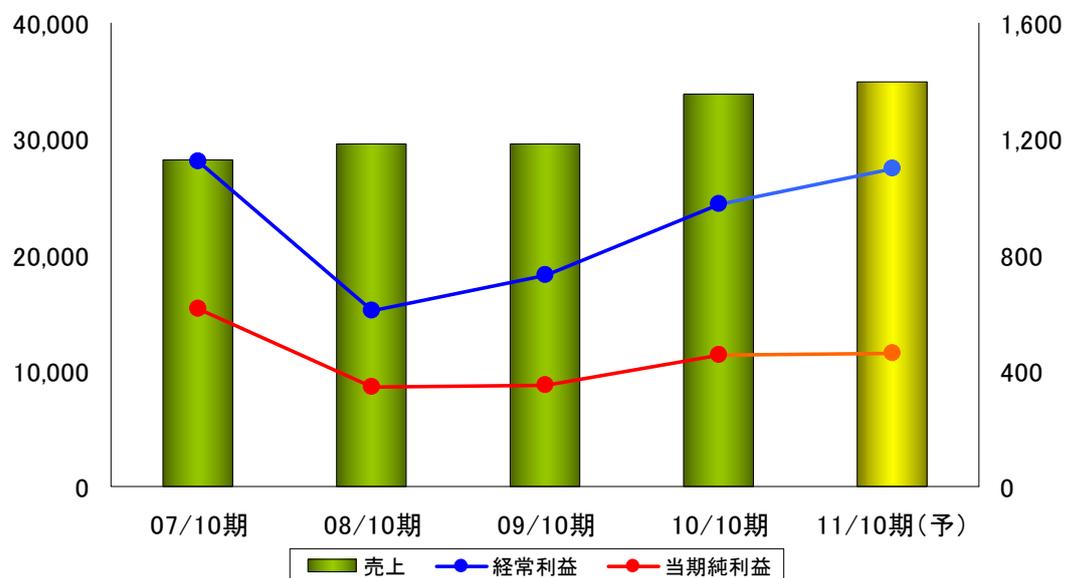
【蔦屋書店部門】

(百万円)

	10年10月期		11年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	32,844	100.0	34,000	100.0	103.5
経常利益	1,007	3.1	1,110	3.3	110.2
当期純利益	584	1.8	477	1.4	81.6
EPS(円)	48.75		39.76		81.6

売上高(百万円)

経常利益
当期純利益(百万円)



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

蔦屋書店

【本資料に関するお問い合わせ先】

株式会社トップカルチャー 取締役管理部長 遠海 武則

TEL: 025(232)0008 / FAX: 025(265)1260

<http://www.topculture.co.jp>